

1.(二重の和差算)

「2つの数のペア」と「残りの1つの数」の差が示される問題では、まず「ペア」と「残り」の和差算を解き、次に「ペア」の2つの数の和差算を解きます。

- (1) 合計が48である三つの数A,B,Cがあります。BとCの和はAより6小さく、CはBより3小さい時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

A= , B= , C=

- (2) 合計が58である三つの数X,Y,Zがあります。XはYとZの和より6大きく、YはZより4大きい時、X,Y,Zはそれぞれいくつですか？

X= , Y= , Z=

2.(疑似和差算)

3数の合計が書いていない問題では、和と差が分かっている 2つをまず和差算で求めてから残りを求めます。

- (1) 三つの数X,Y,Zがあります。YとZの和は25で、XはZより2小さく、ZはYより5大きいです。X,Y,Zはそれぞれいくつですか？

X= , Y= , Z=

- (1) 三つの数A,B,Cがある。AとCの和は27、BとCの和は24、CはAより5小さい時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

A= , B= , C=

3.(和和和算)

差が示されていない問題では ①和の条件式を合計したものを2で割って3つの数の合計を出し ②和の条件式2つずつを比べて差を求め ③あとは3つの数の和差算を解きます。

三つの数A,B,Cがあります。AとBの和が54、BとCの和が59、AとCの和が47である時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

A= , B= , C=

1.(二重の和差算)

「2つの数のペア」と「残りの1つの数」の差が示される問題では、まず「ペア」と「残り」の和差算を解き、次に「ペア」の2つの数の和差算を解きます。

- (1) 合計が48である三つの数A,B,Cがあります。BとCの和はAより6小さく、CはBより3小さい時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

はじめにAとB+Cの和差算と考えてAを求めると、Aは「大」なので $(48+6)\div 2=27$ 、B+Cは $(48-6)\div 2=21$
次にBとCの和差算と考えて、B(大)は $(21+3)\div 2=12$
C(小)は $(21-3)\div 2=9$ と分かる。

$$A= 27 , B= 12 , C= 9$$

- (2) 合計が58である三つの数X,Y,Zがあります。XはYとZの和より6大きく、YはZより4大きい時、X,Y,Zはそれぞれいくつですか？

はじめにXとY+Zの和差算と考えてXを求めると、Xは「大」なので $(58+6)\div 2=32$ 、Y+Zは $(58-6)\div 2=26$
次にYとZの和差算と考えて、Y(大)は $(26+4)\div 2=15$
Z(小)は $(26-4)\div 2=11$ と分かる。

$$X= 32 , Y= 15 , Z= 11$$

2.(疑似和差算)

3数の合計が書いていない問題では、和と差が分かっている 2つをまず和差算で求めてから残りを求めます。

- (1) 三つの数X,Y,Zがあります。YとZの和は25で、XはZより2小さく、ZはYより5大きいです。X,Y,Zはそれぞれいくつですか？

和と差が分かっているのはZとYなので、はじめにZとYの和差算を解くとZ(大)は $(25+5)\div 2=15$ 、Y(小)は $(25-5)\div 2=10$ と分かる。残ったXはZより2小さいので $15-2=13$

$$X= 13 , Y= 10 , Z= 15$$

- (1) 三つの数A,B,Cがある。AとCの和は27、BとCの和は24、CはAより5小さい時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

和と差が分かっているのはAとCなので、はじめにAとCの和差算を解くとA(大)は $(27+5)\div 2=16$ 、C(小)は $(27-5)\div 2=11$ と分かる。残ったBはCとの和が24だから $24-11=13$

$$A= 16 , B= 13 , C= 11$$

3.(和和和算)

差が示されていない問題では ①和の条件式を合計したものを2で割って3つの数の合計を出し ②和の条件式2つずつを比べて差を求め ③あとは3つの数の和差算を解きます。

三つの数A,B,Cがあります。AとBの和が54、BとCの和が59、AとCの和が47である時、A,B,Cはそれぞれいくつですか？

和の式三つを合計すると $54+59+47=160$ になり、 $(A+B)+(B+C)+(A+C)=(A+B+C)\times 2$ なので、三数の和 $(A+B+C)=160\div 2=80$ である。
次に差の式「A+B=54」と「B+C=59」を比べるとAはCより5小さいと分かる。同様に「B+C=59」と「A+C=47」からAはBより12小さく「A+B=54」と「A+C=47」からBはCより7大きくと分かる。
あとは、三数の和差算として解くと、一番小さいAと他の二数との差が12,5なので、 $A(小)=(80-12-5)\div 3=21$ 、 $C(中)=21+5=26$ 、 $B(大)=21+12=33$

$$A= 21 , B= 33 , C= 26$$